

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2393200080		
法人名	社会福祉法人せんねん村		
事業所名	せんねん村グループホームきら		
所在地	愛知県西尾市吉良町吉田山中6番地1		
自己評価作成日	令和2年2月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社ユニバーサルリンク		
所在地	〒463-0035 愛知県名古屋守山区森孝3-1010		
ヒアリング調査日	令和2年2月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

周辺は田園が広がり、窓からの景色はのどかな風景とともに四季を感じられます。建物は木を使い、廊下、リビングは畳を使用しており、温もりを感じるような作りをしています。リビングに集まりたいような、そして、気楽にあばあちゃん家に遊びにきた！と思って頂けるようなホームを目指しています。隣の自動車屋さんともなじみの関係が出来つつあり、町内の事の相談相手、情報提供を頂け、町のイベントごとやイベントの出店に協力して下さっています。地域の行事お祭りや盆踊り参加、地域の保育園児と行き来し交流を図ることも恒例になっています。毎年参加しています「きらまつり」市のイベントへ参加。利用者様と一緒に3食いろいろ作りし、利用者様が売り子になり出店し50パック完売です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通い場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

己 自 部 外	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念のもとサービス実践を心がけている 「こころのびのびからだいいきいのちきらきら今日もいい日だったと言って頂ける様に・・・ 理念に基づき1日1日を大切に過ごす努力をしている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお店の利用や地域のイベント(お祭り)への参加している 買い物、ゴミ捨てでの地域交流している まだどのようにしたらいいか自信がない部分もある		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の症状を把握している 地域にすることで認知症の方の理解になると考えている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・会議資料は参加者にとってわかりやすく楽しめる資料づくり(日ごろの写真)をしている ・いただいた意見を共有しケアに反映するよう努めている(2ヶ月に1回実施)		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員の意見を活用している 介護保険更新、認定調査の際の関わりがある 運営推進会議に参加していただいている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	該当項目の理解に努めている 身体拘束にあたらぬようにケアの検討している 夜間帯以外の施錠は原則なしで対応している 法人内での学習会の実施・参加している		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士お互いの意識をもつようにしている 定期的な学習を心がけている 職場の雰囲気作りにも努めている 入浴時皮膚の観察を実施している		

己 自部 外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、それらを 活用できるよう支援している	活用することは現在はいない 成年後見制度についてはあまり知識がなく取り 組みができていない		
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利 用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分 な説明を行い理解・納得を図っている	管理者、リーダーにて実施している 部署員は契約に関わる機会が少ない為把握し づらい		
10	(6) ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職 員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それ らを運営に反映させている	ご家族が意見や要望を言いやすい環境作りを して直接ご意見をうかがっている できるだけ時間をとってゆっくりお話するよう 心がけている ご家族へ向けて意見箱の設置をしている		
11	(7) ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意 見や提案を聞く機会を設け、反映させている	MTIにて職員一人一人の意見を反映するよう にしている 人事考課面談や随時 管理者との意見交換を している		
12	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実 績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時 間、やりがいなど、各自が向上心を持って働 けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年1回の昇給・年2回の賞与がある 就業規則に関しては随時他職員・リーダーにも 確認して少しずつ把握している		
13	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの 実際と力量を把握し、法人内外の研修を受け る機会の確保や、働きながらトレーニングして いくことを進めている	研修の機会がある 法人内の学習会への参加している 法人内だけでなく外部で研修も参加可能である 職員の力量や目標を把握し有意義な研修参加 OJTの実施している		
14	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流す る機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相 互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向 上させていく取り組みをしている	会議や研修会での外部職員、同業者との交流 をしている 他のGHとの合同の意見交換会の機会がある (中三河ブロック)		

己 自部 外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新しい環境での不安な気持ちに寄り添う関係づくりをしている 入居前にご本人の様子を確認、ご家族の要望を確認しケアプランにとりいれている	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の気持ちに寄り添うように心がけている 来所時に施設での生活のようすを伝える 常に報告するようにする	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の状況を確認している	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者から学ぶ場を通じてお互いに支え合って 共同生活の中でともに学んでいる	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族への協力を得ている 面会時本人の様子を伝える 毎月ご家族へ向けて日頃の様子のお便りをだしている	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのお店や人間関係の継続への支援をしている 家の近くの店や美容院にいっている 面会が自由であることを伝える ご家族や親族の来所は多いが自ら出向くことが少ない	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	認知症の方へのコミュニケーションを学ぶ 中には相性がよくない方もみえるのでうまく間にはいるように支援している 耳が遠い方への支援をしている	

己 自部 外	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去の手順理解と退去後の受け入れ先との情報共有している 法人内の特養へのうつったあとも関係の継続・支援している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望に沿ったケアをしていきたいが我慢させてしまっていることもあると思う 職員の意見にならないように、密なコミュニケーション、ふとした会話の中から意向聞き出している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴を把握 いままでの環境に近い暮らしが出来るよう家族からのお話を参考していく		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察、状態に合わせたケアをしている 24Hシートの作成している その人のできることを見極め支援している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	思い・意向とご家族の意見 計画作成担当と作成している ケアプランの作成方法、アセスメント表の把握 月1回のMT・カンファレンスを実施している 半年に1回のサービス担当者会議実施している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランの確認と実施記録・実践への取り組みをしている 電子カルテや社内メールの活用している 申し送りノートや口頭での伝達している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	特別外出支援あり(受診や冠婚葬祭など) ショートステイも可能である(空所1部屋あり)		

己 自部 外	項 目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居前と変わらない生活の継続できるよう支援している 地域のお祭りへの参加している		
30	(11) ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	意向を大切にする 希望機関の受診をしている 訪問診療時への情報提供している（月2回） 他の受診時は伝達用紙を記入し主治医へ伝えしている 医療関係はNsに任せていることも多い		
31	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	出勤時Nsに報連相している 指示をあおぐ 申し送りにて確認している 法人内の看護師とも連携可能している 日常の様子の変化を報告し訪問診療でDrに報告 専門的意見をきいて対応している		
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の情報交換・連携している マニュアルがあるためそのように対応するがほとんど経験がないと思う 契約時・入所時に説明している		
33	(12) ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時・入居時に意向を確認している 担当者会議時に変更がないか確認する 看取り時のケアの注意点把握している GHでは看取りケアは対応が難しいことも多くある		
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師の緊急時対応の勉強会を実施している 各マニュアルありファイルでまとめている		
35	(13) ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	訓練、備蓄品の管理をしている 定期的な消防訓練と防火点検の実施をしている 津波、炊き出し訓練をしている 防火管理者を中心としている		

己 自部 外	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉に気をつける、スピーチロック把握している スピーチロックは何気なく使用しがちなので気をつけるようにしている 個人情報の取り扱いに注意している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の細かな選択をしていただいている 自己決定・自己選択の声掛けをできる限りしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先にならないようにしている 個々の生活リズムの尊重している 1日の中での実施したいことを本人に伺っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服を選んでもらんでもらっている 毎朝のみなし 整容、毎日の洗濯物している 法人内の床屋や馴染みの床屋、それぞれいつている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	残存能力を活かして役割をもってもらつ、力を発揮してもらつ場面づくりをしている 一緒に献立決め、楽しみながら食べる環境づくり 個人の食器使用している 調理 配膳 片付け一緒に実施している		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量把握、十分な水分が摂取できるように 献立作成時バランスを考えている 1日の食事摂取量の把握をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の状態を把握している 毎食後口腔ケア実施している ご本人が難しいところをお手伝いしている		

己 自部 外	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	羞恥心に配慮した声掛け、排泄用品の選定している 個々の生活リズムを確認している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	適切な下剤を使用するように心がけている 毎朝起床時の白湯提供している 週2回の寒天・ヨーグルト提供している 牛乳も随時提供している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の希望に応じた入浴している 羞恥心に配慮したケアしている リフト浴の使用、機械の操作は十分に注意している 入浴剤を使用しリラックス空間を心がけている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して過ごせる環境作りをしている 自分で居室にいかれる方もいる 夜間はできるだけ安眠を優先している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	効能、副作用の理解、症状の変化に気を付ける 服薬手順書の理解、既往歴、現病の把握している。薬情書の確認している 24Hシートやフェイスシートに落とし込んでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	村人様の趣味や特技を活かした余暇やイベント企画している それぞれがしたいことや行きたいところを日常の中で実施している 誕生日外出の企画している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の気分に合わせた外出、気分転換している 気軽に外出できる 買い物は一緒にいっている ドライブや他部署に就いて交流している 散歩に誘って気分転換などする		

己	自	部	外	項 目	自己評価	外部評価	
					実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50				○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の管理好きな時に使用できるように支援し ちえる お小遣いの預かりを実施している 毎月の使用状況をご家族に報告している		
51				○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎月のお便りの作成し、写真や日ごろの様子を添えてご家族へ送っている 電話かけたい希望者への支援している		
52	(19)			○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空調管理(温度、湿度)、音や光への配慮・心地よい環境づくりを心掛けている 清潔の配慮している 生活感のため洗濯物は中庭などに干すようにしている 玄関やフロアの掲示物で季節感をだしている		
53				○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲のいい人通しや利用者感の関係の考慮している 廊下の長椅子や中庭での日向ぼっこしている		
54	(20)			○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具や食器、環境 ご家族への協力一緒に環境作りをしている		
55				○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ひやりはっと、不適合事故への対応 原因を追究し再発防止に努めるシステム作り 危険のないように見守り、掃除や調理など手伝って頂く		